

ダイワ・インド株ファンド (愛称：パワフル・インド)

運用報告書(全体版)

第65期(決算日 2024年9月9日)

第66期(決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2024年6月8日～2024年12月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | | |
|--------|---|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | | |
| 信託期間 | 2008年6月13日～2050年6月7日 | | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ダイワ・インド株マザーファンドの受益証券 | |
| | ダイワ・インド株マザーファンド | インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場(上場予定を含みます。)するインドの企業の株式およびDR(預託証券) | |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 | |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | 無制限 | |
| 分配方針 | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 | | |

最近10期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) | | 株式 組入比率 | 株式 先物比率 | 純資産 総額 |
|------------------|--------|------------|-----------|----------------------------|-----------|------------|------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指数) | 期中 騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 57期末(2022年9月7日) | 11,230 | 750 | 16.6 | 28,697 | 14.2 | 95.9 | 3.5 | 4,544 |
| 58期末(2022年12月7日) | 10,285 | 650 | △ 2.6 | 27,573 | △ 3.9 | 94.0 | 3.3 | 4,772 |
| 59期末(2023年3月7日) | 9,538 | 300 | △ 4.3 | 25,213 | △ 8.6 | 94.0 | 2.8 | 6,124 |
| 60期末(2023年6月7日) | 10,408 | 10 | 9.2 | 27,377 | 8.6 | 94.6 | 3.2 | 9,774 |
| 61期末(2023年9月7日) | 11,665 | 100 | 13.0 | 30,920 | 12.9 | 94.1 | 3.6 | 16,170 |
| 62期末(2023年12月7日) | 11,575 | 750 | 5.7 | 33,161 | 7.2 | 97.8 | 1.0 | 21,934 |
| 63期末(2024年3月7日) | 11,317 | 1,200 | 8.1 | 37,405 | 12.8 | 95.4 | 3.5 | 34,588 |
| 64期末(2024年6月7日) | 11,450 | 950 | 9.6 | 40,527 | 8.3 | 95.2 | 1.9 | 53,726 |
| 65期末(2024年9月9日) | 11,171 | 0 | △ 2.4 | 40,421 | △ 0.3 | 93.9 | 3.6 | 76,002 |
| 66期末(2024年12月9日) | 11,570 | 10 | 3.7 | 41,209 | 1.9 | 93.6 | 3.8 | 85,510 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(税引後配当込み、円換算)は、MSCI Inc. (「MSCI」)の承諾を得て、MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第65期首：11,450円

第66期末：11,570円（既払分配金10円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インド・ルピーが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となったものの、インド株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド株ファンド

| | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) | | 株 式 組入比率 | 株 式 先物比率 |
|------|----------------|---------|-------|----------------------------|-------|-------------|-------------|
| | | 円 | % | (参考指数) | % | | |
| 第65期 | (期首)2024年6月7日 | 11,450 | — | 40,527 | — | 95.2 | 1.9 |
| | 6月末 | 12,488 | 9.1 | 44,003 | 8.6 | 93.9 | 3.7 |
| | 7月末 | 12,030 | 5.1 | 43,157 | 6.5 | 93.3 | 3.9 |
| | 8月末 | 11,493 | 0.4 | 41,543 | 2.5 | 93.9 | 3.7 |
| | (期末)2024年9月9日 | 11,171 | △ 2.4 | 40,421 | △ 0.3 | 93.9 | 3.6 |
| 第66期 | (期首)2024年9月9日 | 11,171 | — | 40,421 | — | 93.9 | 3.6 |
| | 9月末 | 11,605 | 3.9 | 42,368 | 4.8 | 94.0 | 4.0 |
| | 10月末 | 11,615 | 4.0 | 41,699 | 3.2 | 93.8 | 3.9 |
| | 11月末 | 11,359 | 1.7 | 40,041 | △ 0.9 | 93.2 | 3.8 |
| | (期末)2024年12月9日 | 11,580 | 3.7 | 41,209 | 1.9 | 93.6 | 3.8 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 6. 8 ~ 2024. 12. 9)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より、2024年6月初旬の下院総選挙開票を経てモディ首相の3期目入りが確定した安心感や成長志向の政策が継続されるとの見方に加え、インド中央銀行が2024・2025年度の実質GDP（国内総生産）成長率の見通しを引き上げたことなどを背景に、上昇しました。8月上旬には、米国における景気減速懸念が重しとなり世界的な株安となる中でインド株も一時下落しましたが、その後は、MSCI新興国指数におけるインド株ウエートの上昇や米国の大幅利下げの決定などを背景に、上昇基調で推移しました。10月は、9月CPI（消費者物価指数）の上振れや、市場予想を下回る7-9月期の企業決算に加え、米国金利および米ドル指数の上昇や米国大統領選挙への警戒感などから新興国株式への売り圧力が高まる中、外国人投資家からの資金流出などが要因となり、下落基調で推移しました。その後も、10月CPIの上振れやインド財閥アダニ・グループの会長らが米国検察当局に起訴されたとの報道などを嫌気して、続落しました。当作成期末にかけては、マハラシュトラ州での議会選挙において、与党インド人民党が第1党を、さらに与党連合が過半数を獲得したことにより、投資主導の政策の継続性や政治安定への期待が高まったことなどから、反発しました。

■為替相場

インド・ルピーは対円で下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しであることなどから円安米ドル高となる中、対円で上昇（円安）しました。2024年7月から9月半ばにかけては、日銀の追加利上げへの警戒感などから円高米ドル安が進行し、インド・ルピーは対円で下落しました。その後は、米国金利が大きく上昇する中で円安米ドル高となり、インド・ルピーは対円で上昇しましたが、当作成期末にかけては、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから円高米ドル安となり、インド・ルピーは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブとみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 6. 8 ~ 2024. 12. 9)

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

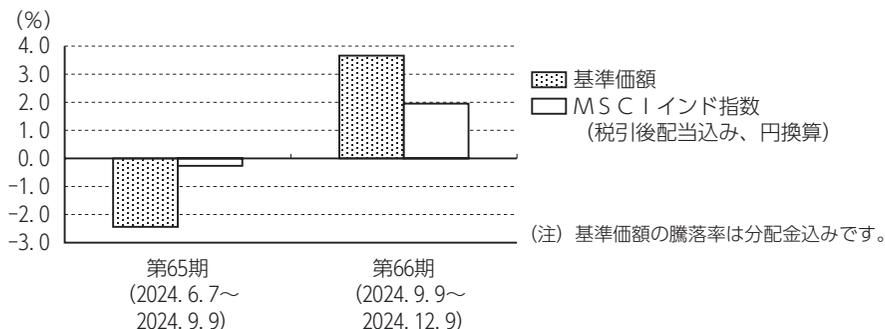
■ダイワ・インド株マザーファンド

優秀な経営陣に率いられ強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に、分散投資を行いました。業種では、貸出残高や手数料収入の増加などによる長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、インフラ（社会基盤）投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターも組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

また、第65期につきましては、基準価額の水準や経費控除後の配当等収益が計上できなかったことを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 第65期 | 第66期 |
|-----------------------|-------------------------|---------------------------|
| | 2024年6月8日 ～2024年9月9日 | 2024年9月10日 ～2024年12月9日 |
| 当期分配金（税込み） (円) | — | 10 |
| 対基準価額比率 (%) | — | 0.09 |
| 当期の収益 (円) | — | 10 |
| 当期の収益以外 (円) | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 4,871 | 4,880 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項 目 | 第65期 | 第66期 |
|-----------------------------|----------|----------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 0.00円 | ✓ 17.59円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0.00 | 0.00 |
| (c) 収益調整金 | 4,861.91 | 4,863.97 |
| (d) 分配準備積立金 | 9.79 | 8.57 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 4,871.70 | 4,890.13 |
| (f) 分配金 | 0.00 | 10.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f) | 4,871.70 | 4,880.13 |

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブとみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 第65期～第66期 (2024. 6. 8～2024. 12. 9) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|---------------------------------------|----------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 110円 | 0. 937% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,701円です。 |
| (投 信 会 社) | (52) | (0. 446) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (52) | (0. 446) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (5) | (0. 045) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | 15 | 0. 125 | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株 式) | (14) | (0. 123) | |
| (先物・オプション) | (0) | (0. 002) | |
| 有 価 証 券 取 引 税 | 6 | 0. 054 | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株 式) | (6) | (0. 054) | |
| そ の 他 費 用 | 41 | 0. 354 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (3) | (0. 025) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0. 002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (38) | (0. 327) | インドキャピタルゲイン税、信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合 計 | 172 | 1. 469 | |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

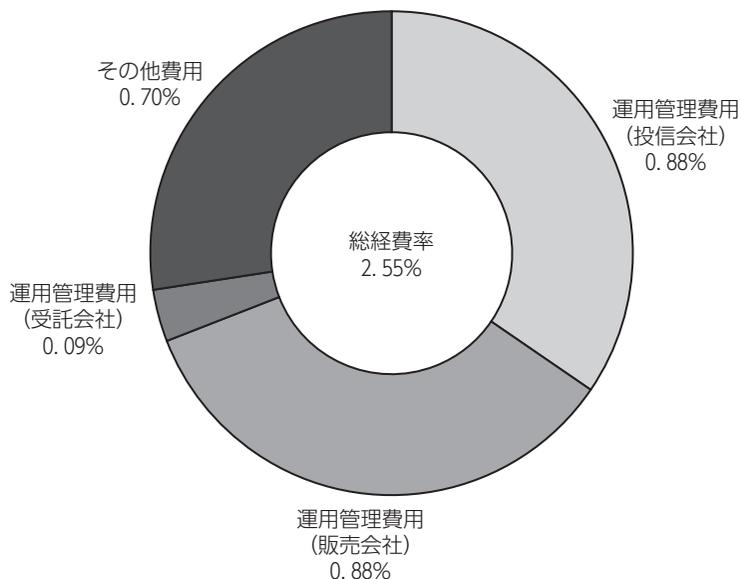
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.55%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) その他費用には、インドにおける非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税が含まれる場合があります。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年6月8日から2024年12月9日まで)

| 決算期 | 第 65 期 ~ 第 66 期 | | | |
|-----------------|-----------------|------------|--------|---------|
| | 設 定 | | 解 約 | |
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ダイワ・インド株マザーファンド | 6,275,045 | 31,320,700 | 92,754 | 451,500 |

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年6月8日から2024年12月9日まで)

| 項 目 | 第 65 期 ~ 第 66 期 | |
|---------------------|-----------------|--|
| | ダイワ・インド株マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 36,042,900千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 73,406,647千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.49 | |

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種 類 | 第 66 期 末 | | |
|-----------------|------------|------------|------------|
| | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| ダイワ・インド株マザーファンド | 11,085,395 | 17,267,686 | 85,069,259 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

| 項 目 | 第 66 期 末 | |
|-----------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| ダイワ・インド株マザーファンド | 85,069,259 | 98.8 |
| コール・ローン等、その他 | 1,046,144 | 1.2 |
| 投資信託財産総額 | 86,115,404 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.85円、1インド・ルピー=1.78円、1ユーロ=158.20円です。

(注3) ダイワ・インド株マザーファンドにおいて、第66期末における外貨建純資産(83,914,610千円)の投資信託財産総額(85,422,479千円)に対する比率は、98.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月9日)、(2024年12月9日)現在

| 項 目 | 第65期末 | 第66期末 |
|-----------------------|-----------------|-----------------|
| (A) 資産 | 76,456,045,038円 | 86,115,404,081円 |
| コール・ローン等 | 595,790,738 | 1,046,144,421 |
| ダイワ・インド株マザーファンド (評価額) | 75,860,254,300 | 85,069,259,660 |
| (B) 負債 | 453,821,835 | 605,064,100 |
| 未払収益分配金 | — | 73,905,081 |
| 未払解約金 | 114,392,957 | 150,556,019 |
| 未払信託報酬 | 338,810,296 | 379,389,472 |
| その他未払費用 | 618,582 | 1,213,528 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 76,002,223,203 | 85,510,339,981 |
| 元本 | 68,032,569,666 | 73,905,081,811 |
| 次期繰越損益金 | 7,969,653,537 | 11,605,258,170 |
| (D) 受益権総口数 | 68,032,569,666口 | 73,905,081,811口 |
| 1万口当り基準価額 (C/D) | 11,171円 | 11,570円 |

* 当作成期首における元本額は46,923,108,839円、当作成期間(第65期~第66期)中における追加設定元本額は33,106,844,763円、同解約元本額は6,124,871,791円です。

* 第66期末の計算口数当りの純資産額は11,570円です。

■損益の状況

第65期 自 2024年 6月 8日 至 2024年 9月 9日
 第66期 自 2024年 9月10日 至 2024年12月 9日

| 項 目 | 第65期 | 第66期 |
|-----------------------|--------------------|--------------------|
| (A) 配当等収益 | 210,637円 | 312,367円 |
| 受取利息 | 210,637 | 312,367 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 2,517,843,095 | 3,089,145,061 |
| 売買益 | 24,189,055 | 3,210,005,360 |
| 売買損 | △ 2,542,032,150 | △ 120,860,299 |
| (C) 信託報酬等 | △ 339,428,878 | △ 379,984,418 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | △ 2,857,061,336 | 2,709,473,010 |
| (E) 前期繰越損益金 | 66,629,388 | △ 2,652,778,163 |
| (F) 追加信託差損益金 | 10,760,085,485 | 11,622,468,404 |
| (配当等相当額) | (33,076,824,618) | (35,947,232,431) |
| (売買損益相当額) | (△ 22,316,739,133) | (△ 24,324,764,027) |
| (G) 合計 (D + E + F) | 7,969,653,537 | 11,679,163,251 |
| (H) 収益分配金 | — | △ 73,905,081 |
| 次期繰越損益金 (G + H) | 7,969,653,537 | 11,605,258,170 |
| 追加信託差損益金 | 10,760,085,485 | 11,622,468,404 |
| (配当等相当額) | (33,076,824,618) | (35,947,232,431) |
| (売買損益相当額) | (△ 22,316,739,133) | (△ 24,324,764,027) |
| 分配準備積立金 | 66,629,388 | 119,462,066 |
| 繰越損益金 | △ 2,857,061,336 | △ 136,672,300 |

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
 (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

| 項 目 | 第65期 | 第66期 |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 0円 | 130,024,630円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 33,076,824,618 | 35,947,232,431 |
| (d) 分配準備積立金 | 66,629,388 | 63,342,517 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 33,143,454,006 | 36,140,599,578 |
| (f) 分配金 | 0 | 73,905,081 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f) | 33,143,454,006 | 36,066,694,497 |
| (h) 受益権総口数 | 68,032,569,666□ | 73,905,081,811□ |

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | | |
|-------------------------|------|------|
| 1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み) | 第65期 | 第66期 |
| | 0 円 | 10 円 |

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。 |
|---|

ダイワ・インド株マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月8日～2024年12月9日)

ダイワ・インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行いません。 |
| 主要投資対象 | インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびDR（預託証券） |
| 株式組入制限 | 無制限 |

大和アセットマネジメント

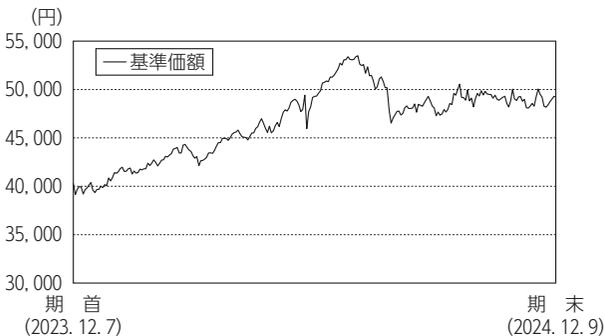
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



| 年 月 日 | 基準 価 額 | | MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) | | 株 式 | 株 式 |
|-----------------|--------|-------|----------------------------|------|------|------|
| | 円 | 騰落率 | 騰落率 | % | 組入比率 | 先物比率 |
| (期首) 2023年12月7日 | 40,254 | — | 32,924 | — | 97.9 | 1.0 |
| 12月末 | 40,177 | △ 0.2 | 33,083 | 0.5 | 95.0 | 3.3 |
| 2024年1月末 | 41,701 | 3.6 | 34,835 | 5.8 | 91.3 | 3.2 |
| 2月末 | 43,435 | 7.9 | 36,750 | 11.6 | 91.4 | 3.7 |
| 3月末 | 44,522 | 10.6 | 37,419 | 13.7 | 95.2 | 3.5 |
| 4月末 | 46,636 | 15.9 | 39,525 | 20.0 | 93.6 | 3.7 |
| 5月末 | 47,721 | 18.5 | 39,803 | 20.9 | 93.7 | 3.7 |
| 6月末 | 52,718 | 31.0 | 43,689 | 32.7 | 94.1 | 3.7 |
| 7月末 | 50,848 | 26.3 | 42,848 | 30.1 | 93.5 | 3.9 |
| 8月末 | 48,634 | 20.8 | 41,246 | 25.3 | 94.0 | 3.7 |
| 9月末 | 49,189 | 22.2 | 42,065 | 27.8 | 94.2 | 4.0 |
| 10月末 | 49,309 | 22.5 | 41,402 | 25.7 | 94.0 | 3.9 |
| 11月末 | 48,294 | 20.0 | 39,755 | 20.7 | 93.3 | 3.8 |
| (期末) 2024年12月9日 | 49,265 | 22.4 | 40,914 | 24.3 | 94.1 | 3.8 |

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIインド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：40,254円 期末：49,265円 騰落率：22.4%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2024年5月にかけて、インフレの鈍化傾向や堅調な2023年10－12月期の実質GDP（国内総生産）成長率の発表、銀行や自動車を中心に2024年1－3月期決算が良好な内容であったことなどを好感し、上昇基調で推移しました。6月上旬は、インド下院総選挙の結果を巡り大きく上下する展開となりましたが、その後は、モディ首相の3期目入りが確定した安心感や成長志向の政策が継続されるとの見方に加え、インド中央銀行が2024・2025年度の実質GDP成長率の見通しを引き上げたことなどを背景に、堅調に推移しました。8月上旬には、米国における景気減速懸念が重しとなり世界的な株安となる中でインド株も一時下落しましたが、その後は、MSCI新興国指数におけるインド株ウエートの上昇や米国の大幅利下げの決定などを背景に、上昇基調で推移しました。10月は、9月CPI（消費者物価指数）の上振れや、市場予想を下回る7－9月期の企業決算に加え、米国金利および米ドル指数の上昇や米国大統領選挙への警戒感などから新興国株式への売り圧力が高まる中、外国人投資家からの資金流出などが要因となり、下落基調で推移しました。その後も、10月CPIの上振れやインド財閥アダニ・グループの会長らが米国検察当局に起訴されたこと報道などを嫌気して、続落しました。当作成期末にかけては、マハラシュトラ州での議会選挙において、与党インド人民党が第1党を、さらに与党連合が過半数を獲得したことにより、投資主導の政策の継続性や政治安定への期待が高まったことなどから、反発しました。

○為替相場

インド・ルピーは対円で当作成期首比横ばいとなりました。

インド・ルピーは、当作成期首より、米国の利下げ観測や日銀の金融緩和修正観測を背景に対円で下落（円高）しましたが、2024年に入ってからは、米国金利の上昇を背景に円安米ドル高が進行し、インド・ルピーは対円で上昇（円安）しました。3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安米ドル高となり、インド・ルピーは対円で上昇傾向が続きました。7月から9月半ばにかけては、日銀の追加利上げへの警戒感などから円高米ドル安が進行し、インド・ルピーは対円で下落しました。その後は、米国金利が大きく上昇する中で円安米ドル高となり、インド・ルピーは対円で上昇しましたが、当作成期末にかけては、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから円高米ドル安となり、インド・ルピーは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

優秀な経営陣に率いられた強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に、分散投資を行いました。業種では、貸出残高や手数料収入の増加などによる長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、インフラ（社会基盤）投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターも組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブとみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

■1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------|----------------|
| 売買委託手数料 (株式) | 163円 (160) |
| (先物・オプション) | (2) |
| 有価証券取引税 (株式) | 68 (68) |
| その他費用 (保管費用) | 508 (25) |
| (その他) | (484) |
| 合 計 | 739 |

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2023年12月8日から2024年12月9日まで)

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|------|------------------------------|--------------------------------|-----------------|-----------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外 国 | アメリカ | 百株 31,682 (—) | 千アメリカ・ドル 94,034 (—) | 百株 7,490 | 千アメリカ・ドル 19,068 |
| | インド | 百株 219,820.14 (1,270) | 千インド・ルピー 26,690,330 (—) | 百株 39,143.42 | 千インド・ルピー 5,116,637 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種類別取引状況

(2023年12月8日から2024年12月9日まで)

| 種 類 別 | 買 建 | | 売 建 | |
|--------------|---------------|---------------|----------|----------|
| | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 |
| 外国 株式先物取引 | 百万円 30,682 | 百万円 27,808 | 百万円 — | 百万円 — |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株マザーファンド

■主要な売買銘柄 株 式

(2023年12月8日から2024年12月9日まで)

| 当 期 | | | | 期 末 | | | |
|------------------------------------|-----------|-----------|--------|------------------------------------|---------|-----------|--------|
| 買 付 | | 当 期 | | 期 末 | | 付 | |
| 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド) | 1,230.5 | 5,037,027 | 4,093 | ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド) | 378.8 | 1,660,104 | 4,382 |
| RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド) | 468.8 | 5,016,904 | 10,701 | TVS MOTOR CO LTD (インド) | 313.344 | 1,347,545 | 4,300 |
| INFOSYS LTD-SP ADR (インド) | 1,468.9 | 4,328,503 | 2,946 | ABB INDIA LTD (インド) | 79.35 | 1,148,859 | 14,478 |
| HDFC BANK LIMITED (インド) | 1,489.3 | 4,300,043 | 2,887 | INDIAN HOTELS CO LTD (インド) | 986.791 | 1,110,707 | 1,125 |
| TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド) | 426.7 | 3,232,784 | 7,576 | INFOSYS LTD-SP ADR (インド) | 334.1 | 925,444 | 2,769 |
| LARSEN & TOUBRO LTD (インド) | 444 | 2,922,169 | 6,581 | PHOENIX MILLS LTD (インド) | 136.043 | 777,969 | 5,718 |
| KOTAK MAHINDRA BANK LTD (インド) | 789.915 | 2,632,687 | 3,332 | CIPLA LTD (インド) | 283.991 | 680,699 | 2,396 |
| AXIS BANK LTD (インド) | 1,117.9 | 2,340,958 | 2,094 | CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND (インド) | 229.509 | 616,198 | 2,684 |
| MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド) | 107.5 | 2,331,181 | 21,685 | AXIS BANK LTD (インド) | 289.572 | 554,631 | 1,915 |
| POWER GRID CORP OF INDIA LTD (インド) | 3,504.567 | 1,951,643 | 556 | BHARAT FORGE LTD (インド) | 159 | 494,319 | 3,108 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

| 銘 柄 | 株 数、金 額 | 期 首 | 当 期 | 期 末 | | 業 種 等 |
|---------------------------------|---------|----------|-----------|-----------|-------------|------------|
| | | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | | |
| | | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | |
| | | 百株 | 百株 | 千アメリカ・ドル | 千円 | |
| (アメリカ) | | | | | | |
| ICICI BANK LTD-SPON ADR | | 4,727 | 13,244 | 41,387 | 6,201,916 | 金融 |
| INFOSYS LTD-SP ADR | | 5,159 | 16,507 | 37,735 | 5,654,590 | 情報技術 |
| RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A | | 1,078 | 5,405 | 33,294 | 4,989,225 | エネルギー |
| アメリカ・ドル通貨計 | 株 数、金 額 | 10,964 | 35,156 | 112,417 | 16,845,732 | |
| | 銘柄数<比率> | 3 銘柄 | 3 銘柄 | | <19.8%> | |
| (インド) | | | | | | |
| NUVOCO VISTAS LTD | | 1,476.58 | 3,822.88 | 141,159 | 251,264 | 素材 |
| SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD | | 2,827.94 | 8,055.94 | 538,942 | 959,317 | 一般消費財・サービス |
| SCHAEFFLER INDIA LTD | | — | 1,062.29 | 383,194 | 682,086 | 資本財・サービス |
| TIMKEN INDIA LTD | | — | 1,315.26 | 446,905 | 795,492 | 資本財・サービス |
| JUBILANT FOODWORKS LTD | | — | 13,451.04 | 934,174 | 1,662,831 | 一般消費財・サービス |
| CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND | | 2,348.89 | 3,805.8 | 485,277 | 863,794 | 金融 |
| DR LAL PATHLABS LTD | | — | 1,527.9 | 468,767 | 834,405 | ヘルスケア |
| PAGE INDUSTRIES LTD | | 36.45 | 147.15 | 678,460 | 1,207,660 | 一般消費財・サービス |
| ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD | | 504.74 | 2,561.43 | 598,695 | 1,065,678 | 一般消費財・サービス |
| PHOENIX MILLS LTD | | 950.43 | — | — | — | 不動産 |
| JK CEMENT LTD | | 219 | 681 | 313,031 | 557,196 | 素材 |
| ICICI LOMBARD GENERAL INSURA | | 1,170 | 3,388 | 660,626 | 1,175,914 | 金融 |
| HDFC LIFE INSURANCE CO LTD | | 3,666.57 | 13,969.57 | 889,163 | 1,582,710 | 金融 |
| LTIMINDTREE LTD | | — | 1,126.36 | 718,493 | 1,278,918 | 情報技術 |
| L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD | | 293 | 904 | 480,815 | 855,850 | 資本財・サービス |

| 銘柄 | 株数 | 株数 | 期末 | | 業種等 | |
|------------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|--|
| | | | 評価額 | | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| | 百株 | 百株 | 千インド・ルピー | 千円 | | |
| HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD | 645.62 | 1,385.76 | 604,731 | 1,076,422 | 金融 | |
| CHALET HOTELS LTD | 3,781.94 | 5,019.21 | 450,725 | 802,290 | 一般消費財・サービス | |
| SKF INDIA LTD | 366.12 | 1,091.45 | 554,838 | 987,612 | 資本財・サービス | |
| CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD | 1,102.24 | 3,090.83 | 421,542 | 750,346 | 素材 | |
| CREDITACCESS GRAMEEN LTD | 898.19 | — | — | — | 金融 | |
| TATA STEEL LTD | 15,756.16 | 45,509.16 | 674,855 | 1,201,242 | 素材 | |
| CIPLA LTD | 2,212.91 | — | — | — | ヘルスケア | |
| AXIS BANK LTD | 6,771.86 | 15,055.14 | 1,783,356 | 3,174,374 | 金融 | |
| MARUTI SUZUKI INDIA LTD | 562.78 | 1,525.78 | 1,726,870 | 3,073,828 | 一般消費財・サービス | |
| DLF LTD | 3,728 | 7,150 | 612,647 | 1,090,512 | 不動産 | |
| ASHOK LEYLAND LTD | 6,923.7 | 14,814.08 | 343,953 | 612,236 | 資本財・サービス | |
| HINDUSTAN UNILEVER LTD | 1,467.44 | 5,231.36 | 1,299,365 | 2,312,870 | 生活必需品 | |
| POWER GRID CORP OF INDIA LTD | — | 35,045.67 | 1,152,652 | 2,051,720 | 公益事業 | |
| ULTRATECH CEMENT LTD | 321.92 | 971.92 | 1,151,579 | 2,049,811 | 素材 | |
| KOTAK MAHINDRA BANK LTD | — | 7,899.15 | 1,403,639 | 2,498,478 | 金融 | |
| BHARAT FORGE LTD | 1,985 | 3,182 | 431,081 | 767,324 | 一般消費財・サービス | |
| CUMMINS INDIA LTD | 1,045 | 2,120.06 | 734,600 | 1,307,589 | 資本財・サービス | |
| DIVI'S LABORATORIES LTD | 528 | 1,548 | 949,040 | 1,689,291 | ヘルスケア | |
| SHREE CEMENT LTD | 74.05 | 224.25 | 607,193 | 1,080,805 | 素材 | |
| TECH MAHINDRA LTD | 1,710.42 | 5,118.42 | 912,511 | 1,624,271 | 情報技術 | |
| AIA ENGINEERING LTD | 377.67 | 1,131.88 | 387,929 | 690,514 | 資本財・サービス | |
| TVS MOTOR CO LTD | 2,492.27 | 2,107.83 | 531,499 | 946,069 | 一般消費財・サービス | |
| HINDALCO INDUSTRIES LTD | 5,821.21 | 15,096.21 | 1,011,672 | 1,800,777 | 素材 | |
| TATA CONSULTANCY SVCS LTD | 242 | 4,509 | 2,004,475 | 3,567,967 | 情報技術 | |
| LARSEN & TOUBRO LTD | 2,216.9 | 6,570.9 | 2,540,769 | 4,522,570 | 資本財・サービス | |
| HDFC BANK LIMITED | 6,106.4 | 20,464.4 | 3,797,885 | 6,760,236 | 金融 | |
| RELIANCE INDUSTRIES LTD | — | 2,540 | 333,133 | 592,977 | エネルギー | |
| ABB INDIA LTD | 876.71 | 1,238.66 | 935,485 | 1,665,164 | 資本財・サービス | |
| INDIAN HOTELS CO LTD | 7,048.97 | 5,044.06 | 416,967 | 742,201 | 一般消費財・サービス | |
| インド・ルピー通貨計 | 株数、金額 | 88,557.08 | 270,503.8 | 35,512,714 | 63,212,631 | |
| | 銘柄数<比率> | 36銘柄 | 41銘柄 | | <74.3%> | |
| ファンド合計 | 株数、金額 | 99,521.08 | 305,659.8 | — | 80,058,363 | |
| | 銘柄数<比率> | 39銘柄 | 44銘柄 | | <94.1%> | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株マザーファンド

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

| 銘柄別 | 当 期 末 | |
|--------------------|-------|-------|
| | 買 建 額 | 売 建 額 |
| 外国 | 百万円 | 百万円 |
| IFSC NIFTY 50（インド） | 3,228 | — |

（注1）外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注2）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 株式 | 千円 | % |
| 株式 | 80,058,363 | 93.7 |
| コール・ローン等、その他 | 5,364,115 | 6.3 |
| 投資信託財産総額 | 85,422,479 | 100.0 |

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝149.85円、1インド・ルピー＝1.78円、1ユーロ＝158.20円です。

（注3）当期末における外貨建純資産（83,914,610千円）の投資信託財産総額（85,422,479千円）に対する比率は、98.2%です。

■損益の状況

当期 自 2023年12月8日 至 2024年12月9日

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------------|-----------------|
| (A) 配当等収益 | 542,719,018円 |
| 受取配当金 | 515,688,887 |
| 受取利息 | 7,185,406 |
| その他収益金 | 19,862,934 |
| 支払利息 | △ 18,209 |
| (B) 有価証券売買損益 | 8,037,825,229 |
| 売買益 | 10,058,638,293 |
| 売買損 | △ 2,020,813,064 |
| (C) 先物取引等損益 | 135,296,343 |
| 取引益 | 376,770,777 |
| 取引損 | △ 241,474,434 |
| (D) その他費用 | △ 628,605,694 |
| (E) 当期損益金 (A + B + C + D) | 8,087,234,896 |
| (F) 前期繰越損益金 | 16,462,738,996 |
| (G) 解約差損益金 | △ 6,307,507,093 |
| (H) 追加信託差損益金 | 49,559,053,607 |
| (I) 合計 (E + F + G + H) | 67,801,520,406 |
| 次期繰越損益金 (I) | 67,801,520,406 |

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|-----------------|
| (A) 資産 | 85,422,479,313円 |
| コール・ローン等 | 4,621,245,395 |
| 株式（評価額） | 80,058,363,712 |
| 未収入金 | 40,250,909 |
| 未収配当金 | 30,351,027 |
| 差入委託証拠金 | 672,268,270 |
| (B) 負債 | 353,271,977 |
| 未払金 | 353,271,977 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 85,069,207,336 |
| 元本 | 17,267,686,930 |
| 次期繰越損益金 | 67,801,520,406 |
| (D) 受益権総口数 | 17,267,686,930口 |
| 1万口当り基準価額 (C / D) | 49,265円 |

*期首における元本額は5,441,433,444円、当作成期間中における追加設定元本額は13,576,146,393円、同解約元本額は1,749,892,907円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：ダイワ・インド株マザーファンド 17,267,686,930円

*当期末の計算口数当りの純資産額は49,265円です。